

知財ふれあい フェスティバル

講演会の部

オンライン
セミナー

参加費
無料



SDGs と 知財

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「弁理士の日」記念講演会では、SDGsに関する公的機関の取り組み、民間企業の取り組み、SDGsに関する技術イノベーションの進捗などを各方面の専門家の皆様にお話しいただき、SDGsに関する知財の現在を知る機会となればと考えています。

基調講演

演題 環境と知財

講演者 澤井 智毅 氏
世界知的所有権機関(WIPO) 日本事務所 所長

時間 13:05 ~ 13:35

第1講演

演題 SDGsへ取り組む際の特許情報活用の考え方
—シーズドリブからニーズドリブへの転換—

講演者 野崎 篤志 氏
株式会社イーパテント 代表取締役社長
知財情報コンサルタント®

時間 13:45~14:25

第2講演

演題 特許発明者のネットワーク分析と
イノベーションマネジメント

講演者 六田 充輝 氏
株式会社ダイセル 執行役員 事業創出本部長、
バイオマスイノベーションセンター所長

時間 14:35~15:15

第3講演

演題 SDGsを起点とした企業知財活動の変化点

講演者 安部 剛夫 氏
ダイキン工業株式会社
法務・コンプライアンス・知財センター
知的財産グループ 担当課長、弁理士

時間 15:25~16:05

7月1日は「弁理士の日」

明治32(1899)年、弁理士法の前身である「特許代理業者登録規則」が施行されました。その施行日を記念し、7月1日を「弁理士の日」に制定しました。

日時

令和4年

7月2日(土) 13:00~16:10

定員

1000名 (事前申込制・参加費無料)

申込方法

日本弁理士会関西会ホームページより
お申込みください。



日本弁理士会関西会
ホームページ

主催/日本弁理士会関西会 後援/近畿経済産業局、独立行政法人 工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、大阪市教育委員会、一般社団法人日本知的財産協会

お問い合わせ先

日本弁理士会関西会

TEL.06-6453-8200 <https://www.kjpaa.jp/>

講演者及び講演内容

日時 令和4年7月2日(土)
13:00~16:10
定員 1000名(事前申込制・参加費無料)

オンライン
セミナー

基調講演 環境と知財

講演者 **澤井 智毅 氏**
世界知的所有権機関(WIPO)
日本事務所 所長

13:05~13:35

人類はイノベーションの発展に伴い、豊かで健康的な生活を手に入れることができた。一方で、科学技術が環境問題を置き去りにしてきたとの指摘も少なくない。こうした中、国連は2006年、国連責任投資原則(PRI)を定め、2015年には先進国途上国を問わず人類共通の目標としてSDGsを制定し、環境に関する世界的な関心を高めた。相前後して、日本の産業界提案のWIPO GREEN施策が、国連の専門機関である世界知的所有権機関(WIPO)の主要施策として開始された。本記念講演会の基調講演として、環境に対する世界の動向と、同施策について、その背景と日本がそのプレゼンスを示しつつある現状を、今後の課題とともに伝える。

第1講演 SDGsへ取り組む際の特許情報活用の考え方 —シーズドリブンからニーズドリブンへの転換—

講演者 **野崎 篤志 氏**
株式会社イーパテント
代表取締役社長
知財情報コンサルタント®

13:45~14:25

2015年に国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)をはじめとして、ESGや脱炭素・カーボンニュートラルなどサステナブルな世界を実現するための取り組みが活発になっています。企業や大学・研究機関のSDGsへの取り組みを可視化するための情報源として注目されているのが特許情報です。SDGsのような社会課題へ特許情報を活用するためには、従来のシーズドリブ的な発想だけでなく、ニーズドリブ的な発想がより一層重要になってきます。本講演では特許情報を通じたSDGsへの取り組み状況の可視化とともに、SDGsを自社ビジネスへ活用するための特許情報活用の考え方について解説します。

第2講演 特許発明者のネットワーク分析とイノベーションマネジメント

講演者 **六田 充輝 氏**
株式会社ダイセル 執行役員
事業創出本部長、
バイオマスイノベーションセンター所長

14:35~15:15

特許情報は、キーワードによるIPランドスケープなど他社の開発動向や技術トレンドを探る上で重要な情報ソースとして活用されているが、今回は「発明者」に注目した活用事例について紹介する。一般に「発明者」として共に名を連ねる研究者は、他の研究者よりも深い結びつきを持つことが多い。そこで過去に実際にあった2社からなる競合事例について、それぞれの組織の発明者のネットワーク分析を行いこれを比較、中心性などの議論から「イノベーションが生まれやすい組織構造」について考察した。またこの結果を本年4月より新しく発足したバイオマスイノベーションセンターのマネジメントに応用している事例についても紹介する。

第3講演 SDGsを起点とした企業知財活動の変化点

講演者 **安部 剛夫 氏**
ダイキン工業株式会社
法務・コンプライアンス・知財センター
知的財産グループ 担当課長、弁理士

15:25~16:05

持続可能な開発目標であるSDGsの達成が求められる中、企業を取り巻くビジネス環境やその技術開発の方向性は大きく変化してきています。加えて、昨年6月には東証ガバナンスコードが改訂され初めて知的財産に関する項目が追加されるなど、企業知財活動は大きな変革期を迎えていると言っても過言ではありません。本講演では、SDGsの推進が企業知財活動にもたらす変化点や、弁理士業務にもたらす変化点について、企業知財の実務者として日々感じていることを、関連するダイキン工業の取り組みとともにご紹介いたします。

注意事項

- ・本セミナーの録画、録音等は禁止します。
- ・本セミナーの参加には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- ・本セミナーは、ウェブセミナーシステムを利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、主催者は責任を負いません。
- ・本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は講演者とその所属先及び当会に帰属します。
- ・私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者の許諾を得ずに複製、公衆送信等を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。
- ・本セミナーで利用するウェブサービスの規約に違反する行為は禁止いたします。
- ・講演者が体調不良となった場合には、その講演者の講演を中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

●お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベント実施、業務運営管理及び統計資料管理のためにのみ利用させていただきます。